

KSKP



とくていひえいりかつどうほうじん

特定非営利活動法人 リアライズ

# リアルライフNEWS

ぼりゆーむ  
vol.8

しんねん  
新年あけましておめでとうございます！

きゅうねんちゅう みなさま しえん  
旧年中は皆様よりたくさんのご支援いただきありがとうございました。

ことし げんき かつどう  
今年もリアライズは元気に活動していきますので

おうえん ねが  
応援よろしく願います！



ことし えと とらさん3名にも登場していただきました(笑)

さて、これは誰でしょう？正解は次号で明らかに！





# 第1回リアルライフ年終特別企画 リアルライフ 往く年 来る年

はやいもので2009年も終わり、2010年がやってまいりました。

リアルライフにとって去年2009年は、たっぷりいろんなことが起こった激動の1年でした!

そこで! 2009年を振り返る特別企画、題して「リアルライフゆく年くる年2009-2010」

をお送りします! 振り返って思うことや、今だから語れるあの話など、リアルライフスタッフ6名

で行いました座談会の模様を全編ノーカットでお送りします!

※関西弁 & 泉州弁の読みにくい箇所もありますが、そのまま掲載します。ご容赦ください…。

## 2009年を振り返って

三井: それでは、「リアルライフゆく年くる年」座談会始めたいと思いますが、まずそれぞれの2009年を振り返って話してもらいたいと思います。さっそくやけど2008年の今頃(座談会は2009年12月末に行いました。)って何してたっけ?

## 一年前の今頃って?

宮元: リアルライフに初めて来たのがちょうど1年前の今くらいやったかな。

長瀬: リアルライフの印象ってどうだったん?

宮元: 仲良いんやなっていうのは、めっちゃわかったけど、それだけやったらアレやなって思ってたけど、皆に、仕事として話し合いは出来るんか聞いたやんな(笑)

長瀬: 「仲良いだけじゃないよ!」とか弁解してたな(笑)「ここは話すべきことは話すよ!」って、

そういや、ヒロシ(山本)はゆっこ(宮元)怖がってたよな(笑)

宮元: そうやね(笑)歳離れてるしね。

山本: 正直めっちゃびびってたわ。全然関係ないけど、俺の友達のねーちゃんにめっちゃ似てて、その人がめっちゃ怖い人で、名前も似てんねん。(笑)

長瀬: いつごろほぐれた?

山本: 正直まだ・・・

全員: (爆笑)

三井: ゆっこに対しては、ヒロシはかわいい子羊みたいになってたしな(笑)

山本: そうやな。でも、しゃべるようになって全然そんなん思わなくなったで。今はもう親友やで。(笑)最近は、よく夜残業でゆっこと一緒になるなあ。今年一番夜残ってしゃべるのゆっこやな～

宮元: 最近けっこう夜遅くまで二人でしゃべること多いよね。まあ、ようしゃべるのは断トツで翼



(ながせ)さんやけど。(わらい)

三井：「ゆっこ座談会」みたいになってきたな (わらい)

じゃあ、他のメンバーはどうやった？

ながせ 僕の2008年末は、介助に明け暮れてたね・・・(とおいめ) それ以外の時間は、みんながわいわいしてる時にも黙々とパソコンに向かってたわ。(ヘルパーの) ひえちゃんに、パソコン打ち込んでる時に「そんなに一人でがんばらんでいいですよ。俺らもっと頼りにしてや。」と言われたのは鮮明に覚えてる。そのときはぴんとこなかったけど、去年の介助最終日にそれを思い出して、頑張らなあかなくて、涙を流しながら介助行ったね・・・(さらにとおいめ)

山本：俺も同じで、けっこう介助に明け暮れてたなあ。なんか働きづめやったかなー。

ながせ あれからヒロシちょっと変わったよな、成長したっていうかさ。

山本：そんなことないやろう。でもあのころは皆に感謝してたなあ。それを思うと今年はずごいみんなに介助の面でも助けられてるなあと思うわ。この年末年始もほとんど俺入らなくてもいけるもんね。

三井：西野はどうなん？

西野：記憶ないんやけど・・・(わらい) 前の職場で頑張ってる仕事してたなあ。年末調整してたんちゃうかな？色々やんでたかなあ～(わらい)

ながせ 今と一緒やん！(わらい)

宮元：かわも氏(川本)は？

川本：通信やってたかな？

ながせ やってなかったんやんな？(わらい)

三井：川本はリアライズに殆ど来てなかったな。

かわもと：・・・(あせ)

西野：どのくらい来なかったの？

三井：月の1/3くらいしか来てなかったな。何か、仮病ばかり使ってたよな(わらい)

川本：そうそう！で、僕この時期に三井さんにこういった記憶があるんです。

[回想シーン]

(かわもと)「いやあ、最近みんな忙しいですね。」

(みつ井)「え・・・？」

(かわもと)「あ、いやあ・・・毎日、仕事が立て込んで。」

(みつ井)「川本・・・仮病でいっぱい休んでるやん(わらい)」

って言われたの覚えてます(わらい)

西野：仮病って？

三井：朝に休む電話してくるときに、色んな仮病をいうねんて(わらい)

### ■川本のオモシロ仮病ランキング！

- 1位. 大腸ガンかも知れません…  
(理由：う〇こに血がついていたから(たぶん痔))
- 2位. 心臓病、心筋梗塞かも知れません…  
(理由：特に理由なし、完全な仮病)
- 3位. 皮膚ガンかも知れません…  
(理由：日焼けして痛かった。)
- 4位. 脳梗塞かも知れません…  
(理由：頭が痛かった。)
- 5位. 頸椎症になったかも知れません…  
(理由：二次障害で起こるはず?!)

三井：こんな感じやったな(わらい)

ながせ ひやで皮膚ガンは笑えたね(わらい)

山本：そうそう(わらい)

みつい きよねん じぶん ひとこと  
三井：去年の自分に一言！

かわもと ほんまアホやね…。きよねん  
川本：ほんまアホやね…。去年のオレ！もっとがんば  
りましょう！もっとかんが  
えましょう！ふう…  
(とお め だつりょく)  
(遠い目&脱力)

ぜんいん (ばくしょう)  
全員：(爆笑)

みつい おれ がつ かいじょ ひへい たお  
三井：俺の12月は、介助で疲弊しているスタッフ達を  
どうささえていくかかんがえる日々やったね。あれ  
は、リアライズのみんなでやからこそ乗り越え  
られたと思うわ。  
あとプライベートではきよねん (2008年) けつこん  
結婚して、ふうふでのはじめのクリスマスをやったり、  
しんねんじゆん び いろいろ いそが たの  
新年準備やったり、まあ色々と忙しく、楽し  
くやってなあ。でもまあそれもあらし まえ しず  
さやったなあ・・・。

じけんはっせい かわもととうぼう  
事件発生。川本逃亡！

### リアライズメモ

ねんしやうがつ あ しゅつぎん と ちゅう  
2009年正月明け出勤途中に、リアライズに疲れた  
かわもと ほっしやん (がくせい ヘルパー) に「介助キャン  
セルするわ」と言い残し、逃亡。大阪市内に夜中まで  
せんかく ひっし そうさく あ みつい よなかだ ほ  
潜伏し、必死で捜索に当たっていた三井に夜中拿捕さ  
れたという事件があったのです。

みつい ねん まく あ かた か  
三井：2009年の幕開けを語るのに欠かせない出来  
事が、例の事件やね……。

かわもと ホンマすいませえん (あせ)  
川本：ホンマすいませえん(汗)

ながせ ぼく しやうがつ いしかわ じつ か かせ ぜんじつ でんわ  
長瀬：僕、正月は石川の実家に帰ってて、前日に電話  
かわもととくん ほな とときかわもと ぼく  
で川本君と話してるんよね。その時川本は僕に  
「リフレッシュして来てな～」とか言ってたの  
に、まさかよくじつにあんなことになるとは…。

やまもと そのひ みっちーからでんわあったのようおぼえて  
山本：その日、みっちーから電話あったのよう憶えて  
るわ。「川本、おれへんねん。たぶん、8割が  
たとうぼうしたわ…。」って。

みつい あのひ おれ しゅつぎん かわもと はい  
三井：あの日、俺が出動したら、川本に入ってるは  
ずのヘルパーが一人でリアライズに来てん。  
「あれ？かわもとは??」ってきいたたら、「かわもと  
さんにえきまえ きやう かいじょ  
駅前で今日は介助キャンセルするわって  
言われたんですよ。」って、きいてさあ。あわて  
てかわもと でんわしたら、つな がらへんしててあたり  
まえ やけどな (わらい) すでにかわもとはひとりでおっ  
たんやから。で、かわもと とうぼう いがい かいじょ  
川本が逃亡以外で介助キャン  
セルするわけがないっておもって、つうこうにんかいじょを  
つか とうぼう  
使ったの逃亡しかないってピンときたわ (わらい)  
やすみ あいだ つく  
休みの間に作るとかなあかん通信の記事を作  
ってなかったやろうなあ…ってすぐわかった  
わ (わらい)

かわもと い おそらく とうじ かのじよ いえや  
で、川本が行くのはおそらく当時の彼女の家や  
とおもったから、そのきんじよに住んでるヘルパーの  
いっぺい (しばた) にちょっとみに行き行って来てって頼  
んでんな。

しばた みつい れんらく う つばさ でんわ  
柴田：三井さんから連絡を受けた翼さんから電話が  
あって、「かわもととくん かのじよ いえ ひとり い  
川本君が彼女の家に一人で行ったっ  
ぽいからみに行ってくれへん？」って言われて  
かのじよ いえ い  
彼女の家にいったら、わすれものを取りにきた  
とおもったかのじよさんは、「はい、お風呂セット」  
ってかわもと わすれものだけをてわたされて (わらい)  
お風呂セット！？かわもさんのすがたはなく・・・  
みたいな (わらい) ちゅう しばたとくん かわもと かいじょちゅう  
注：柴田君は川本の介助中です

みつい かく かのじよ いえ  
三井：いちばん隠れれそうな彼女の家にもおらんって  
ことで、でんしゃのしゅやうなえき かわもと かあ おお  
電車の主要な駅と川本のお母さん、大  
さか しい しーあいえる  
阪市内のC I Lとかいろいろ捜査網を敷いて、  
おれ なんぼ にほんばし かわもと い  
俺も難波とか、日本橋とか川本の行きそうなど  
ころに探しにいった。ほっしやんに、こんなひと  
さが ひと  
来たら教えてくださいて写真持って各駅に

はし走ってもらってん。その日は俺と川本の二人  
出勤の日やったから、他のスタッフは激務あ  
けで休暇中やったし、一人できつかったああ  
あ…。

で、夜になって川本から連絡が入ったと、当  
時の彼女から俺に連絡があった。川本は彼女の  
ところに来ると言っているらしい。それを聞いて  
俺と(当時ヘルパーの)相宅の二人で向かっ  
て、心配してたリアライズのヘルパー達も合  
流して、家の前で待ち伏せしてたら、Tシャツ  
1枚で寒空に現れた川本を見て、心配した感  
情から、怒りが込み上げてきたんを覚えてる  
わ(笑)で、そのまま当時の彼女の家の隣の  
飲み屋に行って、色々語ったなあ。

ながせ 長瀬：尾崎豊の十五の夜みたいやなあ(わらい)

みやもと 宮元：その日は、かわも氏はどこに行ってたん？

かわもと 川本：見つからんように、図書館とか普段僕が絶対行  
かないような所に隠れてた(わらい)でも、ほん  
ま皆からメールいっぱい来てて、「俺はやって  
もおた!!」って思っ反省した。

ながせ 長瀬：でも、そのあとも結構休みがちやったけどね  
(わらい)引きこもって連絡取れないってことも  
あったなあ。

かわもと 川本：その後、2月の東京大行動に、夢宙センター  
の平下代表から行けって言われて行ったなあ。  
お灸やって言われて司会をさせてもらった。

みやもと 宮元：お灸なん？平下さんからの助け船じゃない  
の？

かわもと 川本：そう。名誉挽回の為に。平下さんからの優  
しさやったんやと思う。みんなの優しさを感じた。

みつい 三井：しかし、それを思うと今年3月からの川本は



見違えるようにパワーアップしたな。やっぱり  
新メンバー二人の影響もあるやろな。

みやもと 宮元：自分の役割がなくなってしまうと思ったんじゃ  
ないん？前に言ってたよね。

かわもと 川本：正味、このままでは自分の役割が全部なくなる  
んじゃないかと思ってん。やばいと思っただ。そ  
れとなにより、かっこ悪いとこ見せられへん！  
って本気で思っただですよ。

ながせ 長瀬：ほんま良かったな。見違えるよなあ。(わらい)

ななちゃん自立!!そして新メンバー到来!

### リアライズメモ

2009年3月に自立した、リアライズ自立第一号の  
ななちゃんの詳細を知りたい方は、リアルライフ  
News 5号を見てね♪

みつい 三井：今年のビックニュースといえば、やっぱりなな  
ちゃんの自立ははずせないね。自立する1年く  
らい前に出会って、すごい早いペースでヘルパ  
ーを使いだして、すごくパワーを持ってる人や  
と感じた。自立した時はやった!ってみんなで  
喜んだな。

自立まで  
の道のり  
では、本人  
が自立す



るって気持ちが全然ブレなかったのが一番すごい! と思ったね。色んな課題があっても、ひとり暮らしするんや! っていう思いがひしひしと伝わってきた。

ながせ: ななちゃんの自立までの道のりで一番大変やったのは、女性の介助者探しやな。スタッフも男ばかりやったからね。スタッフに女性が必要だという話しをし



ななちゃんとひろし

たね。

みつ井: 自立の自途が立たないってところは、なかなか大変

なところもあったな。まず、介助者がいない! 特に男くさい事業所やったわけやん、リアライズって。女性で関わってくれてた人がほとんど全然いてない中からのスタートやったからね。

やまもと: 集めるためにいろいろやったな。ビラ配りとか。

ながせ: ほんとに集められるのかというのは、ほんとに心配やったね。というか、この男ばっかしの所に誰が来るのか? 農家の嫁みたいやったなあ。そこで来たのがゆっこや。

みつ井: ななちゃんの自立に関わられたということは、すごくリアライズもパワーアップできたと思う。そこには、やはり女性スタッフの力が不可欠だという話は当時のメンバーではしてて、そこで、現スタッフのゆっこが来ることになったときはほんとにみんなで喜んだわ。

みやもと: 話を聞いたとき、最初はいろいろ考えた。みっちーとは友達として大学で先輩後輩の関係があったから、仕事として一緒にやっ

かどうかとかね。いろいろ考えたけど、最終的には「まあ、えっか!」って思っ

てリアライズにくることを決めた(笑) やってみなわからん

なと思った。入ってみて思ったけど、大人にな

ったよね、お互い(笑) みっちーは良い意味ですごく変わったよ。上に立つ人間として、自制するようになった。なになに

ながせ: 何でみっちー変わったん?

みつ井: リアライズの代表をして、自分の発言がいかに相手に影響を与えるのかということを知

ったからかな。昔は反論あるなら言ったら良いやんって思ってた。自分の言葉の周囲への影響力って考えてなかった。

ながせ: 変わって良かったよねえ(笑) みやもと: 今は、入ってよかったと思うよ。ながせ: おお! フォントおっきくしとこおや(笑) なんでなん?

みやもと: 私は仕事も私生活も全部変わったしね。心身ともに良好になった。最初はすごくしんどい部分もあったけど、つばきさんと毎日電話してたね。



ながせ: ストレスとかだいぶ減ったんじゃない? 最初と比べて今は結構、ゆっこは素のまま

宮元：自分らしく居ても大丈夫というか、信頼してるからかな？いろいろな突っ込んだ話をして、どんな話でもし合える所なんやと思えたことは、すごく大きいことやった。あと、私生活でもいろいろな事が解決した年やったんかな。

長瀬：ゆっこは、不思議ちゃんやからね。

宮元：あと初めてコーディネーターって仕事をする中で、ななちゃんと関わったのは良かったと思う。

長瀬：それはそうやな。もう一人の新メンバートーマス(西野)は？来た当初は、骨折れすぎる人やなあと心配になったわ(笑)

西野：けがした直後に、事務所にゆっここと二人やって、トイレしたならどうしょお・・・って心配したな(笑)

長瀬：僕はずっと経理もコーディネイトもやってたから、待望やったわ！来てどんな感じ？

西野：ここ来て、前の仕事では当事者俺一人やったししんどかったけど、ここにはみっちも川本もいるしほっとした。でも居る中で、今まで自分に中に封印してきた、考えてこなかったことに触れることや、考えさせられることがあって、しんどくなった。いまでも、何かにぶつかるとしんどいけど、考えてやっていくことに意味あるかなって思ってたわ。

宮元：そうやね。やっていこ！

きらっといきる (5月)

### リアライズメモ

5月22日NHK教育「きらっといきる」にリアライズが取り上げられる！

山本：あれはやっぱりみっちーが川本君を泉大津に連れてきたっていう印象が強くなってしまったけど、川本君が選んで決めたってことをちゃんと出してほしかったなあ。

宮元：でも、あれによって反響はあったし、電話してきてくれる人とか、見たって言って来てくれる人とかいたわけやし、色んな人との関わりが増えて良かったと思う。

山本：そうやな、取り上げられたこと自体が嬉しかったし、自分のモチベーションが上がった！

三井：あれのひとつ大きなところは、役所の職員が出てくれたことやな。あれはすごい大きなことで、諦めずに必要性を訴え続ければ伝わるといことがわかってもらえたんじゃないかな。こうやって地域に発信していくことが自立生活センターにとって大切なことなんやと思う。

宮元：ヘルパーからも、「テレビ見ました、すごいやる気でした！」ってメール送ってきてくれて、ヒロシ君だけじゃなくて、沢山の人のモチベーションが上がって、やっぱり凄い意味があったと思う。

### プチメモ

トーマスは骨形性不全症であり、パンツを履こうとして後ろに転倒し肘を痛めました。また、トーマスなのに、線路で躓き、足を痛めたのでした・・・。



夏旅行 (9月)

リアライズメモ

初のリアライズ夏合宿に淡路島へ行きました。皆でワイワイ修学旅行みたいな、珍道中?でした。



山本: 学校の修学旅行みたいな感じやったね。楽しかったわ。みんなで温泉入ったのも面白かった。ものすごかったのが、川本君と一緒に温泉に入るのに、なんと6人介助!

6人同時に川本君を洗ってる光景は壮絶やったね、本人めっちゃ楽しそうやったけど(笑)

長瀬: 「俺が洗います!俺が洗います!」って群がってたよな(笑)

山本: トーマス & 翼司会の宴会の出し物がすごかったけど(笑) 宴会仕切るのやったことないんやろなあ... (笑) って思った。

西野 & 長瀬: ...。注: 詳しくはリアライズにて(笑)

山本: みんなはどうやったん?

三井: 俺はアーチェリーしたのが楽しかったわあ。

川本: サウナ初体験で面白かった。4人に担いでもらって入って。贅沢な体験やったわ(笑)

山本: 楽しかったよね、年一回くらい行きたいいな~ 花火も出来たしね!



人権セミナー (9月)

リアライズメモ

9月にはリアライズ初の人権セミナーが開かれました。50名ほどの参加者があり、三井と川本が講演を行いました。

三井: 地域の人たちや今までリアライズとつながりなかった人たちもいっぱい来てくれたことが一番嬉しかった。少しでも地域の人たちに向けて伝えることが出来たのかな。

川本: 僕は、自分の言葉で言おうとしたら全然まとまらへんくて、悔しかったわ。ヒロシが上手い事質問してくれて助かった。

宮元: 会場からいろいろ質問も出て、障害当事者からも質問出ててよかったと思う。

川本: そうそう、会場の質問に救われたところが大きい。良い質問してくれたみなさん、ありがとうやわ!

三井: もっともっと地域の当事者の人に向けていろいろやって行きたいね。まだまだこの地域で出会ってない仲間がいっぱいいるはずやから。

柴田: 今までいろいろ話聞いたことありますけど、地域の現状とか数字も出して話をしてるのは聞いたことなく、とても勉強になりました。

(詳しくはリアルライフ News 7号参照)



フィールドワーク

リアライズメモ

ももやまがくいんだいがく じゆぎょう いっかん  
 桃山学院大学の授業の一環で、リアライズも学生受  
 け入れを今年から開始！大山壘君とヒロシ&かわも  
 氏の詳細はリアルライフニュース各号で！

みつい：これはヒロシと川本が話さんとな。

やまもと：講座を担当することは初めてで、なかなか大変  
 やった。参加してくれてる学生にもいろいろ迷  
 惑かけてるなあって反省することが多いかな。

ながせ：ヒロシは学生に一番近い年齢やし、桃大出身や  
 ったしどう感じた？

やまもと：自分がなにを学生に伝えられるんやろうってい  
 ろいろ考えた。大学当時、当事者主体での考  
 え方って殆ど学ぶ機会ってなかったし、自分  
 がここ来て感じたこと、障害当事者と関わる  
 ことで感じたこと、考え方、これって自分自身  
 はいいものだと思うから、それを自分の体験と  
 して伝えていけたらなと思う。それをしっかり  
 伝えていけたらなと思う。それと、壘君とつな  
 がれたことはすごくよかったな。フィールドワ  
 ークはみんなに協力してもらいながらやっ  
 てるけど、後半のバリアフリーマップの作成に

かわもとくん  
 は川本君にかな  
 り協力してもら  
 ってるわ。

ぜんいん：なんか今日のヒロ  
 シの喋りは違  
 なあ(笑)

いつもより口まわって  
 るやん！



かわもと：人に何か伝えるって難しいなあってすごい感

じた。ヒロシと連携取りながらやれたんは良か  
 ったかな。あと、このバリアフリーマップ作成  
 を通してちょっとでも壘君に何か感じてもら  
 えたらなって思う。

やまもと：これは自分自身の反省やねんけど、もし、来年  
 とかやるんやとしたら、もっと考えてやらな  
 いとなあと思うな。だって今年やったのは突っ  
 込みどころ満載やもん。でもぜひやってみたい  
 な。今年やったことが生きてくると思うから、  
 自分にとって価値のあることやと思う。

最後は2009年を一字で！

みつい：それでは、今回の企画の締めとして、今年のリ  
 アライズを振り返って漢字一字で総括する  
 と、何ですか？

みんな：う～ん…(考え中)…(考え中)…

みつい：激やな！激しい一年やった。

にしの：俺も出た！革やな、自分革命や！

ながせ：僕は劇、劇業の劇でもあるし(笑)それぞれ  
 の人生劇場が繰り広げられたなって。

みやもと：混かな？色んな人がいっぱいいていろんなも  
 のが混ぜてる所やなって。

かわもと：僕は成長の成やな！

やまもと：開やな。新しい事をたくさんして、地域に開  
 けていくきっかけになったかなって。

しばた：拡げるかな？人とつながりとかいっぱい広  
 がっていつてる所が。

ぜんいん：ではでは、皆さん！良いお年を♪

むりやり締めたな…(笑)

# 自立生活センター・リアライズ 2009年度ヘルパー研修会報告

リアライズでは、2か月に1回、ヘルパーのスキルアップのためヘルパー研修会を行っています。担当するスタッフが毎回趣向を凝らした内容のものを考えて実施しています。リアルライフNEWS Vol. 6では第1回から第3回の研修についてお伝えしました。今回は第4回と第5回の模様をお送りします。

リアライズらしい楽しくそして内容の濃いアツい研修の様子をご覧ください！

## 第4回目 テーマ：「障害とは何か？」

日時：2009年10月18日（日曜）

場所：リアライズ事務所

参加者：30名（うち、スタッフ6名）

内容：I. 「障害を選ぶなら」（参加型ワークショップ）

II. 「この人どうなりますか？」（仮想事例を基にイメージしてみよう）



この研修会を行うきっかけになったのは、第3回ヘルパー研修会のヘルパーが書いたレポートの中に「障害は個性だ！」、「障害者も健全者も一緒」と書かれていたことでした。そして、改めてみんなの意識を確認するために、リアライズのヘルパーを対象にアンケートを行った結果、同様の回答が多数あったのです。

そこで、その結果を踏まえスタッフで度重なる話し合いの結果出た結論をもとに、研修会でワークショップを実施することになりました。

### I. 「障害を選ぶなら」（参加型ワークショップ）

まず、参加者に「視覚」、「聴覚」、「下半身マヒ」、「ダウン症」の4つの障害から、実際になるとしたら、どの障害が「なってもいい。（＝生きやすいと思うか）」、また「なりたくない。（＝生きにくいと思う

か）」を選択してもらい、その理由をそれぞれ考えてもらいました。

生きにくい方の理由の多くは、個々の障害に対して、「できないこと」が挙がっていました。その一方で、「生きやすい」と選んだ理由には「補装具、介助、手話、など別の方法があればできる」ということが挙がっていました。それは、「できる、できないというのは、環境や代替え方法によって変わるのかも知れない」という気づきがありました。

このことを確認し、続いて「個性」とは何かについて、それぞれ意見を出し合いました。その結果、個性とは、「背が高い」、「髪が長い」、「性格」、「他の人とはちがうところ」等々のことであることを確認しました。

そこで、「障害＝個性」というならば、先ほどの「視

覚)、<sup>ちょうかく</sup>「聴覚」、<sup>かはんしん</sup>「下半身マヒ」、<sup>しょう</sup>「ダウン症」の4つの障害も、<sup>せ</sup>「背が高い」、<sup>かみなが</sup>「髪が長い」、ということも「イコール」になる。しかし、<sup>さき</sup>先ほど参加者が4つの障害の中から「なりたくない障害」を選んだ理由には「〇〇できない」というものが多く挙がっていました。

ということは、みんなの意識の中にも「障害=できない」という価値観が存在し、単なる個性とは明らかになちがいがあるはずという気づきがあり、どうやら、「障害=個性」というものでは成立しない何かがあるということに話になりました。実際にその場で、リアライズの当事者スタッフと健常者スタッフが並び、何が違うのかを考えました。そこで出たのが、社会的に不利な状況という要素です。健常者と障害者は同じ社会に生きていても、その社会自体が健常者基準で使いやすい仕組みになっているということが、この要素の元になっています。それを「障害=個性+社会的不利益(バリア=出来なくさせられる)」という式で表しました。最初に確認した、「〇〇があれば〇〇できる」という考え方は、この社会的不利益を取り除くという発想だったのです。

さらに、「障害=個性」では、障害はその人自身の中にあるものとされてしまい、「社会的不利」の状況が見過ごされる恐れがあることが指摘されました。障害は、その人自身の中にあるのではなく、その時々々の社会の仕組みによって決まるもので、その仕組みによっては、障害はあつたりなくなつたりするものであるという結論になりました。

また、社会的不利にはどのようなものがあるか、「学校」、「仕事」、「人間関係」、「住居」という中で、それぞれどのような不利があるのかを具体的に挙げていきました。そして、障害者スタッフから、体験に

基づいた社会的不利(差別)な状況(就学拒否、バリアな環境、結婚差別、入居拒否等々)が語られ、障害者にとって、あらゆるところに社会的不利があることを確認しました。

## II. 「この人どうなりますか？」

(仮想事例を基にイメージしてみよう)

では、社会的不利は障害者に対してどのような影響を与えるのかについて、Aさん、Bさん、Cさん、Dさんという架空のモデルを想定し、それぞれ異なる環境で子どもの頃から自立生活を始めるまで生きた場合に、どう変化していくかをグループに分かれて考えて、イメージし発表してもらいました。

参加者たちが発表してくれたイメージの中には、社会的不利によって成長過程で当たり前に経験できるはずの経験を奪われることで、その人の価値観、考え、行動、生活様式と様々にシンドイ影響を及ぼしてしまう可能性があることが明確に表れていました。

そこで、そのようなことを理解した上で介助者として、利用者の様々な価値観やニーズをどのように考え、介助にあたれば良いのかを考えることを今後の課題とし、感想レポートにもまとめてもらうことしました。

今回の研修では、「そんなふうに考えたことなかった」、「自分が今まで介助で悩んでいたことって、こういうことなんか」、「難しすぎてわからん!」、と様々な反応が返ってきましたが、普段考えないようなことを考えるきっかけができたことは良かったのでは、と思いました。ちょっと内容が難しかったので、次回には気楽な感じの研修会がいいかなあと思う次第です。

# 第5回目 テーマ：「お互いを知ること」

日時： 2009年12月6日 (日曜)

場所： リアライズ事務所

参加者： 14名 (うちスタッフ5名)

内容： I. 『聞く』と『聴く』のちがいについて  
II. 「コミュニケーションについて」



リアライズも設立から2年近くが経ち、スタート時は10名程だった登録ヘルパーも、現在では20名を超える規模にまで増えました。人数が増えるにつれて、ヘルパー同士であまり話したことの無い人も増えてきました。そこで、今回の研修会は、「お互いを知ること」というテーマで、コミュニケーション技術について全員参加型のワーク形式で行いました。

には見えないようにして手元のカードを確認します。その時に描いてある動物の名前を口に出さないようにします。そして、それぞれの動物の鳴き声や物まねをして、同じ動物同士でグループに分かれるというものです。

実際にみんなで一緒になって不格好な動物の姿をやってみると、お互いに緊張感も緩み、研修会の雰囲気も和んでいきました。

## まずは自己紹介から

まずは自己紹介のため、A4用紙に①呼ばれたい名前、②昨日の夕飯のメニュー、③好きな時間の過ごし方、④自分の癖、を書いてもらいそれをみんなに見せ



ながら自己紹介をしました。話すだけの自己紹介では名前のみで終わってしまいがちな自己紹介も、こ

のような形で行うと、それぞれの意外な一面を知ることができました。

自己紹介を終え、ワークに入る前に、グループ分けをするため、『私は何でしょう?』というゲームをしました。このゲームは、まず動物の絵が描かれた4種類のカードを全員に一枚ずつ配ります。それを他の人

## 「聞く」と「聴く」のちがいについて

さて、前半のワークは、『聞くと聴くのちがいについて』ということで、スタッフの長瀬から、「聞くというのは意識しなくても耳に入ってくる音や話に対して、聴くというのは意識して耳を傾けないと聞こえない音や話」との説明を受け、実際にグループごとに二人ひと組になり、時間を分けてお互いに話を聞き合いました。その際に、それぞれ話して手と聞き手を決めて、聴く側が話し手との視線を全く合わせずにきく場合と、話し手と視線を合わせて相槌を入れながらきく場合の二通りのきき方を試してみました。

相手と視線を合わせないという聞き方では、「話していてもちゃんと聴いてもらっている感じがしない」、「虚しい」などの意見が大半を占めました。一方、視

線を合わせて相槌を入れてもらう聴き方では、「ちゃんと聴いてもらっている感じがした」という意見が多く出ました。

### ちょっと息抜き

前半のワークを終え、後半に入る前に、『発想力ゲーム』をグループ対抗で行いました。このゲームのルールは、まず親になる人を決め、その親がキーワードを決定します。そして、そのキーワードから連想される言葉をグループごとに20個ずつ紙に書き出します。思いついた言葉が他のグループと重ならなかったら得点が入ります。なので、それぞれ他のグループが思いつかない言葉を選ばなければいけません。その言葉がちゃんとキーワードにつながっているかどうかの判断は親が決めます。また、とてもユニークな回答や、親が一つだけ事前に決めていた秘密の言葉を回答した場合は、ボーナス得点が入ります。ちなみにこの日のテーマは、「ディズニー」というキーワードでみんなに考えてもらいました。

このゲームで一番の爆笑を買ったのが、親をしていたスタッフが秘密の言葉を最後に発表した時に、「フック船長」ならぬ「フック般長」とホワイトボードにでかでかと似顔絵入りでお披露目したときでした。周囲からは、『「ふっくせんちょう」じゃなくて、「ふっくはんちょう」になつとるでえ!!』と容赦のない突っ込みを入れられておりました。ただ、その後発表したヘルパー平までもが「般長」と書いていたのです・・・。リアライズでは今後フック般長でいいじゃないかと・・・なってませんが(笑)楽しいひと時となったのです。

### コミュニケーションについて

後半のワークは、『コミュニケーションについて』と

いうことで、まず、長瀬から、「コミュニケーションとは=情報、意味、思い、考えを他者に伝えることである」との説明を受け、実際にどのようなときにコミュニケーションをとることに困難を感じるかをグループごとに話し合っ、発表しました。そして引き続き、それではどのようにしたらそれを解決できるのかをグループで話し合ってもらいました。

コミュニケーションに困難を感じる場面では、「年上の人」、「初対面から威圧的な人」、「恋人の両親」等々が出ました。解決案では、「自分と共通の話題を見つける」、「先人観を捨てる」、「相手に興味を持つ」、「勇気を出す」等々、様々な案が出ました。また、中には、「解決不可能!」という意見もありました。

今回の研修会では、みんなで一緒になって話し合い、考えを共有していくという進め方を大事にしました。その際のルールは、①どんな意見もまずは聴く、②間違えても大丈夫・失敗も歓迎する、③秘密を守る、④楽しみながら進めることの4つでした。このことで、リラックスした雰囲気、研修会を進めることができました。

研修会が終わる頃には、普段あまり話す機会がなかった人同士でも、自然とコミュニケーションが取れるようになっており、交流も深まっていたようでした。





目次

■ 新年のご挨拶 (P.2-3)

■ 特集 リアライズゆく年くる年 (P.4-11)

■ ヘルパー研修会報告 (P.12-15)

編集後記

みなさん年末年始はどのようにお過ごしでしたか？リアライズの年末はけっこうな忙しきでタバタでした。そんな中12月28日に大掃除しまして1年の汚れを落とし、新しい年に備えました。

リアライズメンバー一同、2010年もいろいろな人をお迎えできればと思っておりますのでお近くに来られましたら、ぜひお立ち寄りください！突撃訪問大歓迎です！ by と一ます

《発行人》

関西障害者定期刊行物協会

〒536-0023 大阪市城東区東中浜3-5-16 タイガーマンション1階

《編集人》

特定非営利活動法人 リアライズ

〒595-0071 大阪府泉大津市助松町1-3-33エクセラート北助松1階 店舗4

TEL : 0725-22-7716 / FAX : 0725-22-7746

URL : http://www012.upp.so-net.ne.jp/Realize/

定価 : 100円

1984年8月20日第三種郵便承認 毎日発行